

通し番号	4470
------	------

分類番号	21-7B-22-19
------	-------------

(成果情報名) 産卵、産肉能力の高い国産鶏の作出（平成20年え付け鶏の組合せ検定の成績）
〔要約〕 卵肉兼用の国産鶏を用いた平成20年え付け鶏の組合せ検定では、産卵能力、産肉能力について、両方が優れた組合せは認められないが、いずれかが優れた組合せは認められる。
(実施機関・部名) 神奈川県農業技術センター畜産技術所・畜産工学担当 連絡先 046-238-4056

#### [背景・ねらい]

現在、産卵鶏の種鶏のほとんどが海外で保有されており、食料の安定供給の観点から、平成17年に策定された家畜改良増殖目標のなかで国産鶏の改良増殖が重要な課題となっている。そこで、(独)家畜改良センターや他県と連携して、産卵能力と併せて産肉能力も高い卵肉兼用という特長を持った国産鶏を作出して県内農家へ普及する。

#### [成果の内容・特徴]

- 1 外国鶏(ポリスブラウン)を対照鶏として、国産鶏の系統間交雑種であるYA×LA(産卵系)、XS×YA(岡崎おうはん)、XS×YA・LA(白色羽毛、横斑羽毛)について、0～67週齢まで産卵性、卵質、産肉性を調査する。
- 2 育成率は、XS×YA、XS×YA・LA(白色羽毛)が低く、飼料総摂取量は外国鶏が少ない( $P < 0.05$ )。
- 3 産卵性は、外国鶏と比べて、YA×LAは概ね同等であるが、XS×YA、XS×YA・LAは平均卵重が軽く日産卵量が少なく飼料要求率が高い( $P < 0.05$ )。卵質では、国産鶏はハウユニット等がやや劣る傾向にあるが、XS×YA、XS×YA・LAは卵黄色が濃く卵黄重比が大きいという特長がある。
- 4 産肉性では、XS×YA、XS×YA・LAは体重が重く( $P < 0.05$ )、正肉重が重い。

#### [成果の活用面・留意点]

- 1 多様な消費者ニーズに対応してそれぞれ特色を持った国産鶏を作出していくことは、国産鶏を普及していくための戦略の一つとなりうる。
- 2 今後も、産卵能力と併せて産肉能力が高く、採算のとれる卵肉兼用の国産鶏を作出するため、さらに改良を継続していく必要がある。

[具体的データ]

表1 育成期、成鶏期の成績（0～67週齢）

項目	ボリス 外国鶏	YA×LA 産卵系	XS×YA 岡崎おうはん	XS×YA・LA 白色羽毛	XS×YA・LA 横斑羽毛
[育成期（0～20週齢）]					
0～19週齢：					
育成率（%）	98.5 b	99.5 b	95.5 a	95.0 a	98.0 b
飼料総摂取量（g/羽）	7,856 a	8,156 b	8,683 c	8,396 b	8,733 c
20週齢体重（g）	1,882	1,849	1,996	1,996	2,001
50%産卵到達日齢	138.5 a	138.0 a	141.8 ab	143.3 b	144.5 b
[成鶏期（20～67週齢）]					
・産卵性					
産卵率（%）	90.3	87.0	85.3	84.9	85.0
平均卵重（g）	62.3 c	61.5 bc	59.5 a	60.2 ab	60.2 ab
日産卵量（g）	56.2 b	53.5 ab	50.7 a	51.1 a	51.2 a
飼料摂取量（g/日）	112.2	111.8	113.9	112.8	113.4
飼料要求率	2.00 a	2.10 ab	2.26 b	2.22 b	2.24 b
生存率（%）	96.9	99.0	94.8	96.9	97.9
・卵質（36、64週齢時の平均値）					
ハウユニット	86.5 b	80.7 a	80.6 a	83.8 ab	81.1 ab
卵殻強度（kg）	3.95	3.91	3.79	3.85	3.59
卵殻厚（mm）	0.37 b	0.37 b	0.35 a	0.36 ab	0.36 ab
卵殻重（g）	6.02 c	6.01 bc	5.45 a	5.80 bc	5.75 b
卵殻重比（%）	9.4 c	9.3 bc	8.8 a	9.0 ab	9.1 abc
卵黄色	13.2 a	13.2 a	13.5 ab	13.8 b	13.6 ab
卵黄重（g）	16.6 a	16.9 ab	17.4 ab	18.1 b	17.8 b
卵黄重比（%）	25.8 a	26.2 a	28.2 b	27.9 b	28.2 b
血斑出現率（%）	0.0	0.0	7.5	5.0	2.5
肉斑出現率（%）	20.0 a	20.0 a	25.0 ab	47.5 b	35.0 ab
・産肉性					
体重（g）					
（43週齢時）	2083 a	2093 a	2390 b	2330 b	2354 b
（64週齢時）	2130 a	2184 a	2491 b	2400 b	2427 b
と体検査					
（43週齢時）					
生体重（g）	2038	2135	2408	2433	2383
と体重（g）	1815	1895	2140	2200	2130
と体重歩留まり（%）	89.1	88.8	88.8	90.4	89.3
正肉重（g）	753 a	779 ab	915 ab	965 b	908 ab
正肉歩留まり（%）	37.0	36.5	38.0	39.7	38.0
（64週齢時）					
生体重（g）	1953	1853	2355	2360	2380
と体重（g）	1730	1640	2120	2100	2135
と体重歩留まり（%）	88.6	88.6	90.0	88.8	89.4
正肉重（g）	710 ab	686 a	912 b	918 b	899 b
正肉歩留まり（%）	36.4	36.9	38.8	38.9	37.9

※同一項目内において異符号間に有意差あり（P<0.05）

[資料名] 平成21年度試験研究成績書

[研究課題名] 生産性の高い国産鶏の作出

[研究期間] 平成20～21年度

[研究者担当名] 平原敏史